

10月18日水曜日の午前中に全校で地震避難訓練を実施しました。

アドバイザーとして高知大学防災推進センター客員教授の岡村眞先生を迎え「地震により放送機器が使えなくなった」「地震により厨房で火災が発生した」という設定で実施しました。

地震発生により放送機器が使用できないため、周辺のクラスの安全確認をしてから対策本部の校長室に教員が報告に行き、その間に厨房での火災も初期消火で鎮火したため、対策本部で避難先は体育館と判断し、体育館に全員で集まりました。



避難後、生徒から質問に回答する形で

岡村先生の話を行いました。

要点としては以下の通りでした。

- 学校そのものはどんな建物より一番安全である。
- 学校には津波は来ないので、教室から急いで他の場所に避難をする必要はない。
- 心配なのは、ご家族が地震後すぐに慌てて迎えに来られることである。校舎に津波は来ないが、校舎から坂道を下るとそこから先は津波で浸かる可能性が高い。津波は8時間押し寄せたり引いたりを繰り返すので、日中に地震があった場合は、児童生徒さんは学校で1泊し、津波が引いてからの迎えを待つのが、児童生徒さんもお家族も安全であると私は考えている。
- 自宅が海の近くにある児童生徒さんの家の近くには、必ず津波避難タワーがあるはずなので、遠くの山に登るよりタワーに登るほうがいい。

